平成21年七戸町議会第1回臨時会 会議録（第2号）

平成21年1月27日（火） 午前11時00分 開会

○議事日程

日程第 1 提出議案上程

議案第1号工事請負変更契約の締結について（七戸小学校屋内運動場改築工事（建築工事））

○本日の会議に付した事件

日程第 1 提出議案上程

議案第1号工事請負変更契約の締結について（七戸小学校屋内運動場改築工事（建築工事））

○出席議員（16名）

議長	18番	田中正樹君	副議長	17番	工藤耕一君
	1番	附田俊仁君		2番	佐々木寿夫君
	3番	瀬川左一君		5番	田嶋弘一君
	6番	田嶋輝雄君		8番	三上正二君
	9番	天間清太郎君		10番	原子孝君
	11番	川村三十三君		12番	松本祐一君
	13番	二ツ森圭吉君		14番	田島政義君
	15番	中村正彦君		16番	白石洋君

○欠席議員（1名）

4番 盛田恵津子君

○説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	福士孝衛君	総務課長	塚尾義春君
企画財政課長	楠章君	建設課長	天間一二君
教育委員長	中村公一君	教育長	新谷勝弘君
学務課長	仁和民夫君		

○職務のため会議に出席した事務局職員

事務局 長 小 林 広 一 君

事務局 次 長 築 田 政 光 君

○会議を傍聴した者（2名）

○会議の経過

○開会宣告

○議長（田中正樹君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は、16名で定足数に達しています。

したがって、平成21年第1回七戸町議会臨時会は成立いたしました。

これより、1月22日の会議に引き続き本日の会議を開きます。

議長において作成しました議事日程及び説明員は、お手元に配布したとおりであります。

○日程第1

○議長（田中正樹君） 日程第1 議案第1号、工事請負変更契約の締結について（七戸小学校屋内運動場改築工事（建築工事））を議題とします。

はじめに、学務課長より改めて説明させます。

学務課長

○学務課長（仁和民夫君） それでは、説明に先立ちまして前回の議会でご質問事項ございました点に答弁させていただきたいと思っております。

最初に、12月議会でなく今回臨時議会になった理由ということでございます、鋼材類の搬入については10月末まで全て搬入されております。建築工事全体について、変更が無いか確認、確定しなければ単品スライド額の算定が出来ないこと、また、請負業者からの申請が12月22日に提出されたため、今回の議案提案となりました。

次に、鋼材類の価格は下がってきているかのご質問でございました。物価資料で確認しておりますが、12月号より一部鋼材類についてはピーク時よりも価格は下がってきていることは確認しております。単品スライド条項運用基準では搬入時の資材価格と指定されていることから鉄筋については8月、鉄骨については10月の資材価格で積算しております。それから、内訳書を提出できないかとの質問でございました、内訳書等を提出することにより請負業者の方々の落札等がわかるため、公表されていないという状況であります。質問については以上であります。

それでは説明に入らせていただきます。今回の単品スライドの対象は、国土交通省、県土整備部の運用基準では鋼材と燃料油でございますが、七戸小学校屋内運動場改築では鋼材のみが対象となります。このように訂正させていただきたいと思っております。

なお、鋼材について、お手元配布資料のご説明いたしますが、添付資料につきましては、議会終了後回収させていただくようよろしくお願いいたしますと思っております。

一枚目をお開き下さい、川島設計事務所さんから単品スライド額計算書及び変動額計算書につきまして、確定を頂いております。

続いて三枚目をお開き下さい、四枚目です大変申し訳ございません、変動額集計書括弧鋼材類のところをお願いしたいと思います。今回の工事のスライド対象になります鋼材の

変動額集計書でございます、各種鋼材等でございますけれども、上の項目についてちょっとご説明させていただきたいと思っております。品目、規格、変動価格前、ということでこの変動価格前につきましては、当初設計の鋼材金額でございます。それから次の乙購入額でございますが、これは業者が購入された額でございます。次の甲積算金額でございますが、先ほど報告いたしました設計管理川島清事務所から確定を頂いた金額で算定しております。見たとおり鉄筋、鉄骨、梁材等項目でございますけれども、集計書の合計金額をもちまして単品スライド額を計算することになります。

価格変動前ということで、当初設計の金額でございますが、合計で33,915,826、業者購入額、乙購入額でございますが46,850,882、甲積算金額これは川島さんのほうから確定を頂いたもので44,183,953円、このように当初設計から入札を経まして見積もり、それから購入ということで約7ヶ月間の間に3割程度の上昇があった、ということから今回単品スライド運用基準にあてはまるということになりました。

一枚戻りまして三枚目、単品スライド額計算書をごらんください、なかほどに鋼材類とございます。この鋼材類の欄についてご説明いたします。先ほどの集計書の合計金額に基づきまして当初設計額に基づいて計算いたしますと、33,915,826円これに落札率とそれから消費税を加えますと32,857,506円となります、同じ鋼材類の欄でございますが、価格の変動後、甲の積算、44,183,953円これに同じ様に落札率を掛けまして42,805,223円、その下の乙の購入でございますが、49,193,426円となります。集計書及びこの欄での計算になるわけですが、甲乙比較しまして低い方の額が採用されます、42,805,223円が採用されるということになります。これに基づきまして下から二段目でございます、変動額とございます、鋼材類でございます、価格変動後の金額、先ほど申しました採用金額の42,805,223円これに価格変動前の金額、設計当初の金額でございます。32,857,506円を引きまして、変動額9,947,717円が単品スライド金額となります。一番下でございます単品スライド額をご覧下さい、スライド額統一しまして、鋼材類の変動額9,947,717円に足切額、この足切額は工事請負額の1%でございます。2,517,900円これがいわゆる業者負担という金額でございます。これに税抜き価格を算出するため105分の10を掛けまして、7,076,016円、一万以下を切り捨てまして7,070,000円がスライド金額として出てまいります。これに消費税をプラスしますと7,423,500円これが今回の単品スライド適用に当たっての町負担金額というかたちになります。この決定額でございますけれども、これにつきましては当然国庫補助の対象ということで10分の5.5が補助対象となります。以上で説明を終わりたいと思っております、よろしく申し上げます。

○議長（田中正樹君） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

発言を許します。

14番。

○14番（田島政義君） そうするとこれでやると結果的には落札率は何パーセントにな

るの前の97%と変わらないんですか。

○議長（田中正樹君） 学務課長。

○学務課長（仁和民夫君） はい鋼材のみの価格ということでございますのでそのとおりです、変更はございません。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） ま高落札、前にも申し上げました、資料が出れば出るほど高落札、仮に97が92%になった場合、5%位だったら何も追加する必要が無い、ここで町長と財政課長にお願いしたい、仮にこういう紙類、ま石油ショックいろんなある場合には、特に我々商人になると紙類とかビニール関係が値上がりするわけです、当初町で購入する納入金額がこういうように上がった場合、我々の一般の商人のそういう役場に納める価格もこういうふうにして訂正してくれますか。どうですか。これは前にも聞いていますよ。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長

○企画財政課長（楠 章君） ただいまのご質問にお答えします、物品の場合には例えば一般的な工事の類と違いまして、その時の価格で見積を頂いて決定をして購入する、いわゆる一ヶ月、二ヶ月、三ヶ月というふうな期間が生じない、いうこともありまして現在はそういうような対応はなされておりません。いわゆるその時の価格で購入している状況にあるということでございます、以上でございます。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） 意味がわかっていないようですが、契約した時に今みたいに途中で我々が納める額が高騰した、石油ショック以来、前はもうすごかったんですね、紙類関係は、その時は、そういう場合お願いしても、前に契約していますからそれはだめです、ということがあったんです、合併前に、各町村でそうみんなある、業者だけがこういうふうな、国がスライド、こういう補償があるから認める、じゃなくて、税金を納めるのは皆同じでしょ、町民は、ですから片方の業者は認める、片方は認めないではなくて、やはりそういうものをですね、平等にするためにも、もし極端な値上がりがあった場合には、見直して契約をお願いがあったら見直してくれると、そうなれば商工会等でも、おそらく私は天間にしろ七戸にしろ、どこの町会でもそれはお願いに来ると思う、今までは一切、契約すると役場はもう上がろうと上がるまいと、今までは認めていないわけですよ、私初めて議員になっておかしいと思って質問したこともあった、けどもそれはもう契約していますからだめです、今こうやって見ると建設業者だけはこういう類はしょっちゅうあるわけです、ですから本当にしょっちゅうあるんです、この見直し、追加、計算どうのとかこうのとか、今の鉄鋼のこれだけでなく、そのいろんな工事の追加工事が出ましたとかそういうのが出ましたとか、必ず議会にかかる、一般の場合はそういうのをね、そういう書類等の陳情があったりとか、そういうものがあれば町側としては、そういうものも今みたいなかたちの中で考えてもらえるかなんですよ町長、そこなんですよ。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） お答えいたします。まず始めに、その今まで建設業者で契約の中で高くなったから、何回もそれに追加して上乘せしたなんていうことは私の経験ではありませんので、そのことだけは申し上げておきます。ただ追加でやる場合もあるわけなので、それはそれで工事量があるから追加をしたということで、物品が高くなったから足したというのはありません。そこだけは理解していただきたい。

それから、今回の場合はですが特に急激に大変な状況だったわけでありまして、そういうことで国土交通省で国の方からこういう制度を取り入れなさいという指導もありました、県の方でもそういう指導がありまして、その指導にのっとって行なっているわけでありまして。このことを議会の皆さんの承認を得た時、契約したということを承認を得た時、こういう制度も活用したいと、しますということを申し上げて既にもう理解をいただいているつもりであります。ということで総合的に我々は判断をしながらやっているのですので、是非そのへんは理解をいただきたいと思います。今後そういうことがあれば国の方でもそれに対応するための指導があると思います、今回も国から55%の補助金を出すよ、ということでやらせていますので、国から当然指導があると思いますので、そのことは私からも申し上げておきたいと思います。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） ですから、もし我々一般商工人でも、そういうふうなこういう極端な時には、やってもらえますかということを町では考えてくれますかということを答えていただきたい。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） お答えをいたします。これを町で考えるかというよりも、そういう状況が発生すると国は黙っていないと思います、国の指導に沿ってそれに適切に対応をして、そういう対応をしっかりとやっていきたいと思いますので理解をいただきたい。

○議長（田中正樹君） 11番。

○11番（川村三十三君） 今回の工事請負変更契約の締結については、これは町条例に基づいてやったのでしょ、どうなのですか、地方自治法に定められてそれに依拠して町条例にもやって、どれ位の価格の変動があった場合には、これを訂正してもいいんだということが出ているのでしょ、そのことによって今回も出したはずであります、今14番議員が質問申し上げたのは、だとすれば、国の指導なんというのは、それは消耗品等においては国の指導は無いとは思いますが、今聞いているのはそこなんです、一般物件についても変更、上下の変更があるのかどうかと聞いているのです、それに対して町長、国の指導なんて、これは国の指導じゃないでしょ、町条例に基づいて出したものでありまして、国の勿論自治法、第96条第1項第5号のものに基づいている、そしてまた、条例の平成17年条例第49号第2条の規程により、議会の議決を求めるんだと出してあるわけなんです。あくまでもこれは主体性は議会ですよ、この議を得てその補助をしている上部に進達をす

るのであって、今14番議員が質問しているのに対してあなたは未曾有に答えていない、いいですかちゃんと答えなさいよ。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） じゃ川村議員にお答えを申し上げます。さっきも申し上げましたように、議会でこの件を議決する場合、その条項の中に、契約条項の中に、こういうスライド制度を活用しますということが入っているのですよ、請負契約の中に、それを実行しているということであり、それも何故それをそこに入れたかといえませんが、町が単独でなく国土交通省のほうでこういうことを大変だからしなさいと、したほうがいと、それから県でもそうしたいということで、それを条項として入れて皆さんに諮って、皆さんもそれではそういうことで理解していただき、審議していただき議決をしているのです、その議決に沿って今行なっているということですので、そういうことで理解していただきたい。

また、さっきも申し上げましたように田島議員にも申し上げましたように、緊急に急激な変動等あれば、国でもその救済に黙ってはいないだろうというふうに思っています、そういうことで我々もそういうことも要請しながら、国のほうの補助事業の補助とかそういうもの等も検討しながら、町で対応できることはしっかりとやっていくと、そういうことを申し上げていますので、そういう事態になればそれなりにしっかりと頑張りますので、やりますので一つご理解いただきたいと思います。

○議長（田中正樹君） 11番。

○11番（川村三十三君） 町長の答弁が私を納得させるに足るような説明ではない、今ここに出ているのは、提案理由として工事に関わるものはそれはそのとおりですよ、今14番議員が尋ねているのは、そういう町条例の規程が一般消費物件にもあてはまるのかと知っているのですよ、補助事業だけじゃなくて、町財政の中で自主財源の中で購入できるものについてそういう上下変動があった場合にスライドまたはスライドダウンするのかどうかとそれを聞いてるんですよ。いいですか、町の財政そのものを自主財源について運用する場合においても、一般商店の損得のないようにひとつやるやらないということを町長答弁してくださいといっているんですよ、お願いします。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） 今やっているのはこれは条例とかそういうのはあると思いますけれども、燃料、ガソリンは変動事に訂正をしているんですよ、安くなれば安くする、高くなった分は高くする、ということで変動しています。それから一般の商品については今例えば鉛筆購入の場合、幾らですかといえ、これは100円ですとじゃ買いますと100円払うんですよ、そして品物はそこで交換になるんですよ、その間にほぼ瞬間的に執り行われる場合、そこで値段が上がるとか上がらないとかというのは、考えられないわけで、また仕入れしてきてそれを売るわけですからある一定の利益を取って、そしてよこすということですから、そういう感じになろうかと思っておりますので、一つそのへんは理解していた

だきたい、またいろいろ服とかそういう物等についてもですが、例えば衣類等についても、発注して契約して一週間後、二週間後に納入するというのもあるんですけども、その時点で業者さんはそちらの方の値段を確かめてあそいですかということで契約していると思うんですよ、ということで、そういうことがあるにしても急激な変動とか我々想像を絶するようなことがあれば、それはその業者さんに対して何らかの対応はしなければならないというのは当然であるし、また国も黙ってはいないと思いますので、そういうこと等も踏まえながら、これからじっくりと皆さんとご意見を交わしながら遺漏の無いようにしてまいりますので一つ、私の答弁が核心に触れてないといわすけども、そのへんの心を開いて核心を出して頂いて、一つ理解していただきたいと思います、以上であります。

○議長（田中正樹君） 11番。

○11番（川村三十三君） 町長はなんとなく持って回ったもののいい方をする、やるかやらないかを聞いているんですよ、いいですか、スライドアップ、スライドダウンするか物価の変動があった場合にダウンをしたりアップをしたりするか、そのことをやるかやらないかをあなたから答弁いただくということなんですよ。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） それはもう当然売る方でもスライドしていれば下げたり上げたりしますから、それをそのまま買うわけですから当然やっているわけですし、そういうふうにしたいと思いますので一つご理解していただきたいと思います。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） この問題につきましては、契約の時にでも私少し話した経緯があるのですが、こうして世の中が非常にいろんな意味で変動されている時代でもあります、ですからいろんな意味で価格の変動というのはこれは当然つきものだろうとは思いますが、私の申し上げたいのは、この小学校の工事は本体工事及び体育館の工事となるので、この継続してきた過去があるのですね、しかも設計指導してくれる川島設計も同じ様にそういうようなかたちで物を見てきたわけですよ、しかしオリンピックによって中国であれだけの鋼材がですね、一挙に需要が伸びてくる、あるいはインドもそうですけども、そういったかたちのなかで、世界中の鉄鋼があそこに集まったというかたちになるものですから、各国もいろんな意味で大変な苦勞をされて単価のアップは出てきていたことは、当然我々でもあの時点で予想は出来ているわけですよ、確実に何パーセント上がるんだということでないにしても、そういう状況があったわけですから、当然私はですね、同じ設計業者が指導している立場にあるわけですから、それを例えば前年度にですね、ある程度の鋼材を押さえておくとか、というようなこと等になれば、仮に翌年、例えば去年にそういう話があって、去年の春先ですね鋼材をもう少し安く入れておけばですよ、業者もそんなに苦勞を私はしなかったのではないかなというふうに思いますよ、と申し上げますのは、ここにも書いてありますようにですね、この業者が買った鋼材というのは総体的には4千6百なにがしで買っているわけですよ、ところが今単品の変動性を取り入れても4千4百

万云々というふうなことですから百七十四五万ぐらいの持ち出しがあるようになっているのですよ、とすれば私が先ほど申し上げましたように、これが仮に前年度で少し話をしておいてですね押さえておいてもらえれば、仮に変動性があったにしてもですね、業者は中身の中ではある意味で、もう少しやはりこの苦勞しないで、金銭的にも苦勞しないですんだのではないのかなというふうに私は思うのですよ、ですから担当課も、あくまでもただ業者に渡したからもういいんだと、川島で設計して現場も管理してくれているんだと、いうことだけではなしにですね、やはり担当課もある程度先を読むと申しますかね、やはり流れを組ながらやはり町自体がいろんな意味でその支出が少なくすむようなかたちを私はいつでも取っていてほしいなと思うのですよ、私はこれ一つの大きい教訓としてね、私は残していかなければならないのではないかなと、いうふうに思っているんですが、そのへんのあたり管理者としてどういうふうに考えておりますか。それからもう一つは、このことも去ることながら、現状の体育館の工事の進捗状況はどのような状況になっていますか、合わせてお尋ねをしたいと思います。

○議長（田中正樹君） 教育長

○教育長（新谷勝弘君） 白石議員にお答え申し上げます、現在の体育館の進捗状況は順調に進んでございまして86%になっているはずでございまして。それが一点でございまして。

それから、私も教育委員会としての立場で考えてみますと、確かに先の予測を立てるということでは非常に甘い点があったのかな、ということは事実でございまして。これはもうお詫びを申し上げなければならぬ。こ思っておりますけれども、まさかこんなにまでもかという気持ちはないわけではございませんでした。しかも、鋼材がなかなか手にはいらぬというところまで実態があったわけではございまして。ただ、だからといって鋼材が入手できるのは何時なのか、ということを経営会社あるいは業者の方から伺いましたらですね、あれは8月頃もうちょっと前だったでしょうか、伺いましたらですね、今から発注しておよそ今の3月、21年の3月頃でなければ納品できないかもしれないと、こういう現実もございました。

そういうふうなことで、となれば安全な学校作りという意味からして、子ども達の安全を守るためには一日でも早く校舎を完成しておくべきではないかと、いう判断もございましてですね、急遽発注をし高い中だけれども進めてきたとこういう現実もございまして。

先の見通しの甘さについては深くお詫びを申し上げたい、このように考えてございまして、以上でございまして。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（福士孝衛君） お答えを申し上げます。今教育長が申し上げましたように先の見方に甘さがあったのではないかとということであり、私もそのへんについて今後十分に意を尽くしまして適切に対応してまいりたいと思っておりますのでご理解をしていただきたいと思います、以上であります。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） スライドするというのはわかるのですが、この説明によれば一番高い時に発注した時と、それから8月、10月で比べたかたちの中での積算してやったということでしたんですけども、これから見れば甲の積算からいうと、入札額は別としても、積算のかたちとなればこの、3枚目か鋼材類の甲の積算、4,280万云々とあるんですが、乙の購入というのは4,900、約5,000万なんですよね、そうすれば積算するということは、その時のかたちの中での単価を積算して設計は出すと思うんですけども、それ以上に高いかたちの中で買ったという理解でいいのでしょうか。課長どうです。

○議長（田中正樹君） 学務課長。

○学務課長（仁和民夫君） お答えいたします。業者における購入は先ほど議員申されましたように、8月それから10月で全て材料は搬入されております。いわゆる今の単品スライドの積算におきましては、業者の購入した搬入した月の納品、若しくは請求書に基づいて、その金額によって購入したということを判定しております。

また、甲の積算でございますが、8月もしくは10月になりますけれども、それぞれの物価資料に基づいて積算してあります。以上であります。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） そうすれば8月と10月に業者に搬入されたということは、それ前にオーダーをしたということ、発注したということになるのでしょうかけれども、そういうことですよね、ところが甲の積算というかたちのものは、その納品されて8月なり10月をもって積算したわけでしょ、そういうことですね、とすれば、購入した時点の積算するからこの差はなくていいんですけど、ということは8月、10月の時が、前のそれ以前のほうがもっとその時より高かったということでしょうかね、契約した時点と納入した時点の積算のときの、設計上から見てですよ、設計上から見て8月10月で設計をくんだのでしょ、積算したのでしょ、だけでも業者が約800万近くも高く買っているんだから、ということはそれを何月に発注したかわからないけれども、その間の業者が発注した時点の積算が、もし仮にですよ、その時で積算すればもっとこの甲の積算価格が高くなったということになるのですか。一番のこの鋼材とかそういうの、ピーク時は何時なのですか。

もう一回いいます。甲の積算、ようするに積算価格と、それから購入価格の差がありすぎるのです、これは間違いなく業者が損をしていることになるのです、もしこうだとすれば、でもこれはうなずけないわけではないのですよ、納入されたのは8月と10月であれば、おそらく2ヶ月も何ぼも前でなければ注文しなければならないということ、結局5月なり7月なりでオーダーかけなければならないから、でしょ、ところが実際甲の積算する設計で積算したかたちのものは、納入された8月と10月をもってやっているわけでしょ、ようするに2ヶ月か3ヶ月かわからないのですが、それだけのずれがあるということですよ。とすれば8月と10月を基準にしたとなれば、何ヶ月か前、2ヶ月か3ヶ月前のその価格のピーク時というのか、鋼材でも鉄筋でもそのピーク時は何時なのですか。いっていることがわかりますか。

○議長（田中正樹君） 学務課長。

○学務課長（仁和民夫君） お答えいたします。確かに鉄筋、鉄骨につきましては、鉄筋は8月納入、鉄骨等につきましては10月納入ということになります。今ありましたように、単品スライド適用にあたっては、業者購入がされた月の積算ということになります。それから、甲の積算でございますが、いわゆる8月それから10月の物価資料によって積算しております。先ほどいいましたピーク時となれば、今そこまで手元に資料ございませんので。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 何回にもなって本当は同じこといっているのですが、なぜこんなことかというのと、もし、ピーク時が、いいですか、ピーク時が発注した時点、納入されているのは8月なり10月だと思うのですよ、3ヶ月もかかるとすればですよ、かせつして3ヶ月前に契約しないと2・3ヶ月、教育長先ほど答弁したとおり、2ヶ月も3ヶ月もかかる、そうだと思うんですよ、もしそうだとすれば3ヶ月前の価格と、業者に8月・10月に入ったけども、払わなければならないお金は3ヶ月も前の値段なわけです、そういうことになるでしょ、だけれども甲の積算した設計の積算したのは購入して納めた時点で積算しているわけです、8月と10月で、そうすればその時には、3ヶ月前の時と購入した時の3ヶ月前の時その購入した時の差がどうなのかと聞いているのですよ。確かに上がっている時だからそのピーク時が下がった時なのかそれからそれ以降に8月とかそれから上がったのかそれを知りたいのです。

○議長（田中正樹君） 学務課長。

○学務課長（仁和民夫君） 最初に申し上げましたように、12月の物価資料によりますと、12月の物価資料は10月時点での金額の物価資料として10月のものが12月に発表されております。いわゆる10月が一つのピークではなかったかなと想定されます、いわゆるその中で12月に発表された10月段階における物価資料では一部のものについて値下がりしているというのが確認できるということで先ほど申しております、以上でございます。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 今あの12月に出したのは、10月がピーク時だという話ですよ、要するに12月の発表が10月だからそれがピーク時だということですよ、とすれば、それ前はピークがここだからそれ前は安いということですよ、逆にいうと、12月の発表したのは10月のピーク時だと、今あなたはいったから、ここまではいいですね、とすれば業者が納品したのは甲の積算は10月でやっているから高い時にやっているよね、だけれども乙が購入したのは安い時期ピークより低い時だから、低い時に購入契約しているわけですよ、そうですよ、もしそうだとすればそこで思ったんですよ、おかしいなと思った、甲の積算のほうが安くて、乙の仕入れの方が高いというのはおかしくないですかということ、甲の積算が一番の高い時で積算してこの金額なんですよ、あなたの説明からするとそ

ういうふうになるのですよ、だけれども甲は乙の購入はそのピーク時より以前に何ヶ月、2・3ヶ月と、教育長もいっていたが、2・3ヶ月前より購入しているのだから、要するにピーク時より安い時に購入しているはずでしょといっているのです。そういうふうになるの
でしょ、理屈からいうと、それなのに約700万・800万それだけ違うということ、むしろ逆にこれからいうとあなたのいいかたからいうと甲の積算よりもこの乙の購入の方が安くないとおかしいわけです。そうなりませんか、ピーク時を積算しているから一番高いところで去年の一番高いところで積算した金額、これはこれでいいのです。だけれども、乙がそのピーク時がそこで契約するのは、教育長がいったように2ヶ月も3ヶ月も前に契約してオーダーかけているのだから、その時なんぼですよと見積とってやっているのだから。その時は間違いなく安かったはずでしょというのです。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩いたします。

休 憩 午前11時42分

再 開 午前11時52分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し会議を開きます。

学務課長。

○学務課長（仁和民夫君） お答えいたします、先ほどの三上議員のご質問でございましたが、先ほども申しましたとおり、業者が購入した月でもって、町の積算もその月において積算しております、以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより討論を行いません。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論がありませんので討論を終結します。

これより本案について、採決します。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

したがいまして、議案第1号、工事請負変更契約の締結について、（七戸小学校屋内運動場改築工事（建築工事））は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、今期臨時会に付議された事件は議了しました。

お諮りします。

本臨時会の会期を、会議規則第七条の規程により、本日をもって閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

したがいまして、本臨時会は本日をもって閉会することに決定しました。

これをもちまして、平成21年第1回七戸町議会臨時会を閉会します。

ご苦労様でした。

閉 会 午前11時54分

以上の会議録は、事務局長小林広一の記載したものであるが、内容に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

平成21年 1 月 2 7 日

上北郡七戸町議会 議 長 田 中 正 樹

議 員 三 上 正 二

議 員 天 間 清 太 郎